

新たなコミュニティ創生に向けて

# Community Design Center

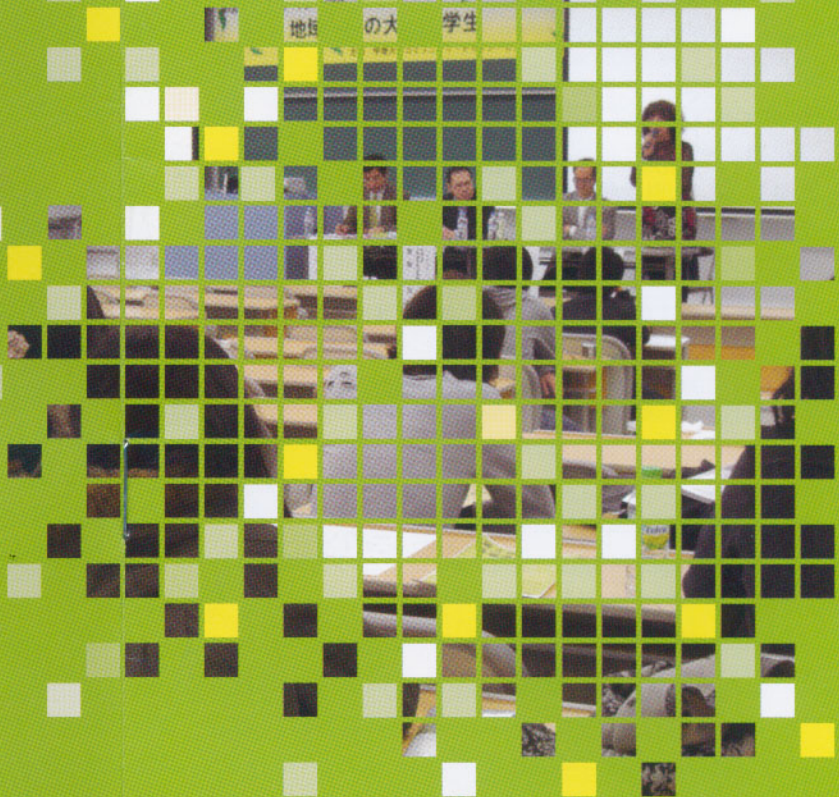
甲南大学コミュニティ・デザイン・センター  
利用案内 2008年度活動報告

Vol. **3**



カフェ・パンセ

ギャラリー・パンセ



 **甲南大学**

コミュニティ・デザイン・センター (CDC)

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 (10号館2階)

TEL 078-435-2276 FAX 078-435-2302

URL <http://www.konan-cdc.jp>

Mail [k-cdc01@center.konan-u.ac.jp](mailto:k-cdc01@center.konan-u.ac.jp)

# 地域連携による環境教育の展開

あいな里山公園と甲南大学キャンパスにおける環境教育ボランティア

PROJECT

文学部 人間科学科  
取組担当者—— 谷口 文章 教授

私たちのゼミでは、「Think globally, Act locally(国際的に考え、ローカル地域的に活動する)」という理念のもと、地域連携的な環境教育活動を行っています。

まず、甲南大学環境教育野外施設(神戸市西区/広野グラウンド)の田んぼにおいて、もみまきから収穫(もちつき大会)までを一年間を通じて体験しています。もみまき、田植え、稲刈り、脱穀、収穫を行ない、収穫されたもち米で「もちつき大会」を開催しています。我々はそれぞれの作業の指導を行ないました。これらの活動は機械を使わずに、日本の伝統的な有機農業を実施するとともに、日本の文化や里山の循環型のライフスタイルを学びます。自然環境の中での体験学習は、四季や自然の生命リズムを身近に実感することができます。

これらの作業において、地元の方たちと触れ合う機会が多くなりました。もみまきや田植えなどは、地元の方と連携して一緒に行ない、アドバイスを参考にしながら作業を行ないました。

次に、学内での環境教育活動として2008年12月10日(水)に「哲学思想基礎論」の授業において<第8回環境啓発シンポジウム>を開催・支援しました。今年度は「キャンパス・ライフと環境マナー」というテーマで、学生部・管財部・甲南大学生生活協同組合・関西明装・甲南学園サービス・対馬造園の6部署と連携を図り、学生の一番身近な地域である「大学キャンパス」という環境について、受講生とシンポジウムの形で交え意見を交わしました。一般の学生にとって、ゴミ分別や落書き、ポイ捨てなどの環境マナーやモラルの向上に向けての良いきっかけになったことでしよう。

そして、2008年9月27日(土)に広域副専攻科目「環境教育の実践II」[総合演習①②]の授業をサポートするとともに、「あいな里山公園における里山復元・自然観察」のために神戸市北区山田町藍那に位置するあいな里山公園をボランティアとして訪れました。あいな里山公園でボランティア活動をされている「自然と友だちになろう」代表の三宅慎也氏による講義が行なわれました。約50名の大学受講生、高大連携の県立尼崎北高校の生徒約10名が参加しました。授業では、あいな里山公園の広大な土地を散策し、普段の生活では見ることのできない様々な植物と生態系について三宅氏から詳しく説明があり、それらのサポート・ボランティアを行ない地域連携を図りました。参加者たちは、植物を眺めるだけでなく、実際に実を食し、実の甘さや苦さ



田植え 2008年6月7日(土)(甲南大学環境教育野外施設(広野)において田んぼ支援)



餅つき 2008年12月20日(土)(甲南大学環境教育野外施設(広野)において餅つき指導)



あいな 2008年9月27日(土)(「あいな里山公園」(国土交通省)においてボランティア)



を味わうなどして、普段は体験できないあいなの自然環境に触れることができました。

今年度は、広野グラウンドの田んぼに隣接する竹林が土砂崩れの被害に見舞われ、復旧作業のために、残念ながら例年よりあいなの活動が少なくなっていました。

来年度も地域的な環境活動を積極的に行ない、学内外の地域と連携して環境教育の推進・環境問題解決に向けて取り組んでいきたいと予定しています。